

広報 しんじょう

8
2011

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.644

ホームページ <http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

メール info@city.shinjo.yamagata.jp

ホームページ検索

検索



区長と市長のまちづくり会議

ふるさとづくりにご支援を
ごころ元気ですか？

頑張ろう、東北。

新庄市は、東日本大震災の復興を支援します。

区長と市長の まちづくり会議を開催

7月21日から23日にかけて、市内の5ブロックで「第22回区長と市長のまちづくり会議」を開催しました。区長から提案された市政への意見は18件。提出された意見を中心に意見交換を行いました。その一部を紹介します。

地域 自主防災組織の結成

■区長／市の組織結成率は、他市に比較して低いと聞きます。要因として町内会の世帯数が、少ないところは六世帯、多いところでは三百を超え、極端にアンバランスなため組織の結成・防災計画・防災訓練などが難しいのではないのでしょうか。そこで、自主防災組織の結成については、実態を踏まえ、地区別やブロックごとに防災組織を編成し、より広域的に防災計画の立案・研修・訓練などを実施することを提案します。

●市長／新庄市の自主防災組織の組織率は県下でも低い水準にあります。自主防災組織の結成促進のために補助制度を設けるとともに、出前講座等による説明会を実施しています。

災害発生時の細やかな活動を実現するためには町内会を主体とした単位組織の結成が望ましいのですが、地域の実情によっては近隣との合同組織によってスタートすることが現実的かと思われます。その後、自主防災組織相互の連携による協議会等を編成できるようになれば、地域によるブロックごとの大きな区割りも可能になると

思われます。現状の自主防災組織等から見ても、町内会単位での組織育成を重点に考えています。

観光 市中心商店街の 活性化について

■区長／新庄まつりや百円商店街などのときだけでなく、より多くのイベントを開催し、人が集まれるような環境を作っていければと考えます。そして、各種の情報を積極的に発信していくことによって少しでも活性化につなげていけるのではないのでしょうか。

●市長／市では、市報やホームページなどを通じ情報発信を行い、市内外の皆さんに関心を持ってもらうよう努めています。

平成二十年度からは、新しいまつりとして中心商店街を舞台とした「味覚まつり」を始めるなど、他の魅力も創出し町の中を歩いてもらえるよう工夫しています。また、



各商店街独自にもイベントを開催していて、今後は駅から商店街を回遊してもらえよう、各商店街の特色を出せるような工夫を図るなどの検討をしていきたいと思えます。

市では、引き続き商店街や新庄商工会議所、各団体の実施するイベントや事業等について、環境づくりや情報発信を行っていきます。

教育 企業紹介などを学校 教育に取り入れる

■区長／市内の企業紹介と見学会を学校教育に取り入れてはどうでしょうか。小中学生を対象に、地域の産業を学ぶ良い機会になると思います。

●市長／従前より市内各小中学校では、「総合的な学習の時間」の中で、地域の経営者や関係機関の職員、経験豊富な高齢者を講師とした農林業体験、産業分野等で活躍中の同窓生を招いた講演会や中学校のキャリア教育の一環としての職場訪問などの実践が行われています。

平成二十一年度に策定した新庄市の小中一貫教育の方向性を示した「小中一貫教育基本方針」においても、「ふるさと学習」「キャリア



教育」の推進を掲げています。さらに今後、「新庄市立小・中一貫教育校基本計画策定委員会」で基本計画を策定していく中で、地域の企業紹介や職場体験も含めた「ふるさと学習」の九年間の全体計画を「キャリア教育」と関連させながら作成し、「施設一体型小中一貫教育校」での実践に結びつけていきます。また、その他の中学校区でも全体計画を参考にし、実態に応じて「ふるさと学習」を推進していくこととしています。

このような取り組みを通して、郷土に誇りを持ち、ふるさとを愛し、ふるさとを支えたいという思いを持つ人材の育成を図っていきたいと考えています。

地域 地区の統廃合を進めてほしい

■区長／現在、二百十六の地区があります。区によって少子高齢化のために地域活動に支障をきたしているところもあります。少子高齢化の中でますます地域活動が重要になることから、地区の統廃合を進め一地区百世帯前後で、百地区ぐらいの行政区分にし、世代・地域の交流を図りながら新庄市らしいまちづく

りの推進を望みます。

●市長／市では区長規則に基づき市政の円滑な運営を図るため、各地区から推薦された方を区長に委嘱しています。

世帯数の減少や高齢化が進み、区長や役員のなり手不足などもあり、地域活動に支障をきたしている町内会があることは、平成二十一年度に行った調査結果からも明らかになっています。

災害への備えや若い世代との交流など、世帯数の少ない町内単独では解決することが難しい課題も多くなっています。その中で、地域自らが解決に向け優先的に取り組むべき地域課題について考え、解決していける仕組みづくりが必要になります。市では、複数の町内会による連合体を組織することで地域体制の強化を図り、そうした課題に対応していく地域づくりを推進していきます。

革新 市民課窓口の土・日開設について

■区長／市民課の窓口を、土曜日・日曜日も開設してほしい。

●市長／市では、土曜日・日曜日の窓口開設は、三月末から四月初めの年度末・年度始めの就職・進

学・転勤などの異動時期に、夜間延長も含めて実施しています。例年、同じような申請件数ですが、今年の場合、土・日の二日間で二十五件、平日夜間は五日間で十二件に対応しました。また、利用者の利便を図るため、福祉事務所・健康課・上下水道課など関係各課と連携し、総合的に窓口開設を実施しています。

市民課での土曜日・日曜日の窓口開設は、年度末・年度始めだけの実施とし、それ以外では、平日の時間外対応を行っています。どうしても、時間中に来庁できない市民の方には、事前に連絡をいただければ、夕方七時まで窓口で対応します。

時間内においていられない場合は、ぜひ市民課に問い合わせください。





ふるさとづくり支援を

新庄市まちづくり応援寄附金(ふるさと納税)について

新庄を離れて暮らす方が「新庄市を応援したい」という思いを形にできる制度、「ふるさと納税制度」は今年四年目を迎えました。制度の概要とこれまでの結果についてお知らせします。



■ふるさと納税制度とは？

全国的に実施されている、ふるさと納税制度(本市では、新庄市まちづくり応援寄附金という名称で制度化しています)は、「ふるさとを応援したい」という思いを実現しやすくするため、税負担の軽減などにより、寄附しやすくなるよう創設された制度です。また、新庄出身でなくても「新庄市を応援したい」と思う人も活用できる制度です。寄附していただく、寄附金額のうち一定額が、所得税や住民税の控除対象となります。

制度が始まった平成二十年度以降、多くの方々から応援いただいておりますが、今後もしっかりと支援いただきますよう、皆様からも、市外にお住まいの親戚・友人・お知り合いの方などに、ぜひお声がけをお願いします。

■これまでにいただいた寄附金額

○年度別		
年度	金額	件数
平成20年度	859,000円	18件
平成21年度	1,808,000円	58件
平成22年度	3,331,000円	120件
合計	5,998,000円	196件

○事業別	
区分	金額
にぎわいと交流のまちづくり	447,400円
安心して暮らせる生活環境づくり	1,395,000円
魅力ある地域産業づくり	240,500円
新しい文化を創造する人づくり	1,128,900円
環境にやさしい地域づくり	110,000円
事業にこだわらず支援	2,676,200円
合計	5,998,000円

■寄附金の使い道は？

いただいた寄附金は、ご寄附いただいた方の思いに沿う事業や、住みよいまちづくりのための事業に活用させていただくため、現在、各事業三百万円程度を目指して基金に積み立てるとともに、効果的に活用できる事業内容の選定を行っています。

また、善意をお寄せいただいた多くの方々との絆を、今後の交流促進に向けた取り組みにも生かしていきたいと考えています。

新庄市まちづくり応援寄附金 手続きの流れ

←寄附のお申し込み

市ホームページに掲載している申請書にご記入いただき、ファクス、電子メール、郵送などでお送りください。

←お送金

市から寄附金専用の振込用紙をお送りしますので、ゆうちょ銀行などでお送金ください。

←受領証明書の送付

ご入金を確認させていただいた後に受領証明書をお送りします。受領証明書は確定申告の際に必要となりますので大切に保管してください。

←確定申告

確定申告の時期に最寄りの税務署等で確定申告をされると所得税の軽減が受けられます。軽減額については様々なケースがありますので、詳しくは、最寄の税務署またはお住まいの市区町村の税務担当課までお問い合わせください。

←特産品の送付

新庄市まちづくり応援寄附金(ふるさと納税)として五千円以上の寄附をされた方には、地元特産品をお送りします。

寄附いただく際に指定できる使い道(活用区分)

平成23年度からは、昨年度新たに策定した新庄市まちづくり総合計画(第4次新庄市振興計画)の基本目標に合わせて活用区分を設定しています。

※活用区分は必ずしも指定しなくても構いません。



活用区分1

産業の振興に関する事業

「いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち」を目指しています。そのため、農業所得の向上ややりがいのある農林業の確立のための事業、活力ある商工業の確立のための事業、魅力ある観光産業を確立するための事業などを行います。



活用区分2

医療や福祉の充実に関する事業

「みんな健康で、笑顔あふれるまち」を目指しています。そのため、子育て環境の充実や子どもの健やかな成長を支援する取組や、健康でいきいきと暮らせ、支え合い安心して暮らせる地域づくりに関する事業、また、市民連携による防災・防犯機能の強化など、安全で安心な地域づくりのための事業を行います。



活用区分3

教育、文化、スポーツの振興に関する事業

「ふれあい、学びあい、心をつなぐまち」を目指しています。そのため、夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する事業、生涯学習の推進や豊かな文化芸術の振興を図る事業、一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフの実現のための事業を行います。



活用区分4

社会生活基盤の充実に関する事業

「社会生活基盤が整い、安全で快適なまち」を目指しています。そのため、冬の快適な暮らしの実現や、安全安心で住みやすい生活環境基盤の整備、利便性が高く機能的な都市基盤の整備を進めていきます。



活用区分5

環境の保全に関する事業

「自然と共生し、環境にやさしいまち」を目指しています。そのため、豊かな自然環境の保全や、良好な生活環境と資源循環型社会の形成を図る事業、地球温暖化防止のための事業を行います。



活用区分6

地域づくりに関する事業

協働による誇りがもてるまちづくりを進めます。そのため、市民のまちづくりへの参画や、世代間の交流を図るための事業、地域の特性を活かしたまちづくりのための事業を行います。



寄附とともに寄せられたメッセージ

- これからも元気なまちづくりに励んでください。応援しています。
- 東北地方へ旅行の際には、新庄市に立ち寄り観光したいと思っています。
- 自分を育ててくれた「ふるさと新庄」を忘れることはありません。「ふるさと新庄」があつてこそ、今の自分があります。財政再建のために、市民、職員、市長はじめ特別職、議員が一体となり取り組んでおられることは、マスコミだけでなく、東京の仲間でも話題になっています。
- 京都からの転校生でしたが、みなさんに大切に育てていただきました。雪に負けず、頑張ってください。私の大切なふるさとです。
- 旅行で何度か訪れています。少額ですが、地域振興に役立てばと思います。「そば」はもちろん、「とりもつラーメン」もおいしかったので、さらに有名になることを期待しています。
- 知り合いが住んでいます。いつか訪問してみたいと思っています。
- 最上が元気になるにはまず新庄から。活気ある街づくりに生かされることを願っています。
- 厳しい財政の中、今後も継続して頑張ってください。
- 新庄まつりの時期に訪れたことがあります。華やかな様子に大変感動しました。また違う季節にもぜひとも訪れたいと思います。

◎詳しくは、総合政策課企画政策室へ。

☎内線234

こころ元気でですか？

あなたとあなたの大切なひとのために

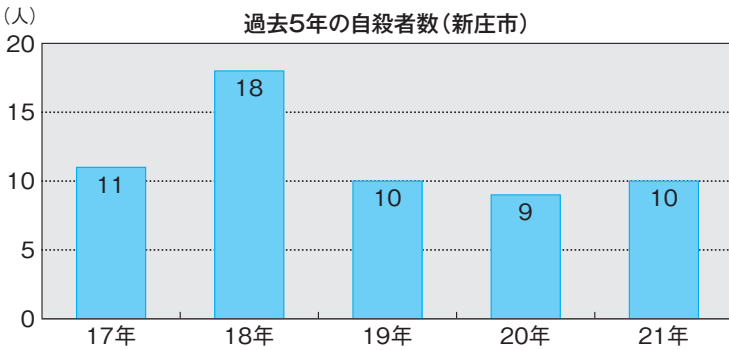
全国の自殺者数は、平成十年に三万人を超え、その後も高い水準で推移しています。自殺は、国内の死因別順位でも第七位となっていて、未然に防ぐためのメンタルヘルスなどの対策が、今大きな課題となっています。

■減らない自殺者数

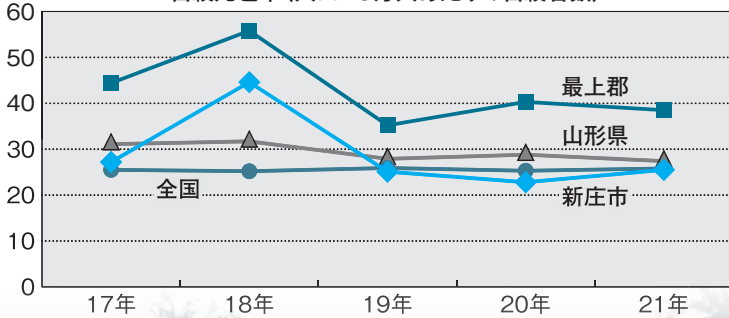
警察庁の発表によると、平成二十一年の自殺者数は全国で三万二千八百四十五人。新庄市でも毎年十人前後の方が自ら尊い命を絶つていきます。さらに、自殺未遂者はその十倍程いると言われている、深刻な問題といえます。

また、自殺した本人と親密な立場にいた人や、同じような境遇にあった人などは精神的衝撃も強く、うつ状態になったり、後を追って死にたいという自殺衝動にかられることがあります。(後追い自殺、群発自殺)このような周囲に与える影響を考えると、自殺は決して本人だけの問題ではありません。

過去5年の自殺者数(新庄市)



自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺者数)



■自殺のサイン

自殺で亡くなられた方には、次のようなサインが多く見られます。

□うつ病の症状がある(気が沈む、自分を責める、不眠が続くなど)

□原因不明の体調不良が続く

□酒量が増す

□健康が保てない、自分の安全に配慮していない

□仕事の負担が急に増える、大きな失敗をする

□職場や家庭でサポートが得られない

□本人にとって価値のあるものを失う

□重症な身体の病気にかかる

□自殺を口にする

□自殺未遂におよぶ

※出典・厚生労働省「職場における自殺の予防と対応」

□自殺未遂におよぶ

□自殺未遂におよぶ

□自殺未遂におよぶ

■心身の健康について

自殺した人の8割以上は、うつ病などの心の病にかかっていたという報告があります。しかし、精神科を受診していた人はそのうちの2割ほどです。うつ病の治療の中心は、十分な休養と服薬です。調子が良くなってきたと思っても、また逆戻りになつてしまったように感じたりと波があります。医師の指示を守りながら治療を続けることが大切です。

県内の主な相談機関

電話で相談できます。一人で悩まずにご相談ください。家族や友人など本人以外の相談も受け付けています。

相談機関	電話	相談時間等	備考
県精神保健福祉センター(心の健康相談ダイヤル)	023-631-7060	平日 9:00~17:00	毎月1回自死遺族相談も行って(要予約)
山形いのちの電話	023-645-4343	年中無休 13:00~22:00	毎月10日(午前8時から24時間)は無料相談ダイヤル0120-738-556
最上保健所 地域保健予防課	0233-29-1266	平日 8:30~17:15	
新庄市健康課 健康推進室	0233-22-2111 (内線 516)	平日 8:30~17:15	毎月1回、専門医師・心理士による心の相談も行って(要予約)
		多重債務相談 毎月第3金曜日 19:00~21:00	司法書士による個別相談 ●会場/市民プラザ(要予約)

「うつ病を疑うポイント」

□疲れているのに寝つきが悪く、夜中や早朝に目が覚める

□悲しい、憂うつ、気分が沈む

□悩みや心配ごとが頭から離れない、不安な気持ち

□意欲や集中力・決断力の低下

□何もする気がおきない、何も楽しめない

□体の調子が悪い(だるい、めまい、頭痛、食欲低下、吐き気、微熱など)

□自分には価値がないと感じる(自殺を考える)

■身近な人ができること

だれかに「死にたい」と打ち明けられた時、話題をそらそうとした

り、死んではいけないと教え説くようなことはしないでください。あなたにできることは、相手の気持ちを心で聞いて聴くことです。気晴らし

や励ましは逆効果になることもあります。本人のペースで休養させてあげましょう。

また、相談機関への受診を勧めたり、付き添ってあげたり、相談機関を紹介するのも良い方法です。

自殺予防講演会のお知らせ

- とき 9月10日(土)午後1時~
 - ところ 市民プラザ大ホール
 - 講師 家田 荘子さん(作家・僧侶)
 - 申し込み 8月31日(水)まで電話かファクス(23-2469)で申し込んでください。
 - 定員 先着300人(定員になり次第締め切り)
- ※手話通訳あります。
◎詳しくは、健康課健康推進室へ。 ☎内線516





年に一度は健康チェックを!

子宮頸がん検診・乳がん検診の無料クーポン券を配布します

◎健康課健康推進室 ☎内線516

市では、一定の年齢の人に子宮頸がん検診、乳がん検診の無料クーポン券を7月末に送付しました。がん検診無料クーポン券を使い、がんの早期発見・健康増進に努めましょう。

◆対象

4月20日現在、市内在住の人で、平成22年4月2日から23年4月1日までの間に下記の年齢に達した女性は、子宮頸がん無料検診、乳がん無料検診の対象者になります。

■子宮頸がん検診の対象年齢

年齢	生年月日
20歳	平成2年4月2日～平成3年4月1日
25歳	昭和60年4月2日～昭和61年4月1日
30歳	昭和55年4月2日～昭和56年4月1日
35歳	昭和50年4月2日～昭和51年4月1日
40歳	昭和45年4月2日～昭和46年4月1日

■乳がん検診の対象年齢

年齢	生年月日
40歳	昭和45年4月2日～昭和46年4月1日
45歳	昭和40年4月2日～昭和41年4月1日
50歳	昭和35年4月2日～昭和36年4月1日
55歳	昭和30年4月2日～昭和31年4月1日
60歳	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日

◆事業の概要

市が交付する無料クーポン券を使用することにより、自己負担金を支払うことなく、無料で子宮頸がん、または乳がん検診を受診できます。対象者で、4月以降すでに市の検診を受けた人には、申請により、検診料金を還付します。

◆実施期間

受診できる期間は、8月1日から24年2月29日までです。

◆検診機関

市と契約した検診機関・医療機関で受診できます。詳しくはクーポン券に同封している案内をご覧ください。



クーポンを利用して検診を受けましょう

平成21年度から女性特有のがん検診推進事業(平成23年度よりがん検診推進事業と名称変更)が実施され、子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券を送付しています。しかし、本市における子宮頸がん・

【平成22年度クーポン利用率】

	子宮頸がん	乳がん
クーポン配布人数	974人	1,439人
利用者数	257人	491人
利用率	26.4%	34.1%

特に、若い年代での子宮頸がん

が増えているにもかかわらず、20代30代の子宮頸がん検診受診率は低く、平成22年度では、受診者全体の1割程度です。

また、乳がんは女性のがんの中で患者数が最も多く、40代後半から罹患率が急激に上がり、子宮頸がんは30代から40代で多く診断されています。平成22年度の新庄市の検診でも、子宮頸がん2人(20歳代、40歳代)、乳がん2人(40歳代、50歳代)が発見されました。

子宮頸がん・乳がん検診ともに診察及び検査は、10～20分程度の短時間で終了します。

早期発見・早期治療のためにがん検診を受けましょう。
※初めて子宮頸がん・乳がん検診を受診する方で、検診について不安な点がありましたら、健康課までお問い合わせください。

平成23年8～9月の健診日程

*健診対象者については平成23年度保健事業のご案内(全戸配布)をご覧ください。

健診内容	健診日程	実施場所
セット健診	[男性]8月23日・29日/9月8・17日	最上検診センター
	[女性]9月2・12・27日	
特定健診 健康診査 がん検診	[男性]8月18日/9月22日 [女性]9月5・14日	保健センター
	[男性・女性]8月17日/9月6・21日	萩野地区公民館
	[男性・女性]8月30・31日	
子宮がん・乳がん検診のみ	8月19日/9月16・20日	最上検診センター

※健診を申し込んでいない方には個別に案内を送付します。まだ健診の申し込みをしていない方は、申込書(1月に配布)を提出するか、電話で申し込んでください。

あなたの街に
ま住すみ
プロジェクト



●吉本興業株式会社(本部・大阪)は、今年、47都道府県に所属芸人を住ませ、地域の人々と同じ目線で、ともに日本を元気にしていく「あなたの街に」住みます”プロジェクト”を進めています。本市でも祭りや食などのピーアールや地域おこしと一緒に取り組むため、芸人の三浦友加さんに「しんじょさ、あべ! 部長」をお願いしました。打ち合わせのため、本市を訪れた三浦さんに新庄の印象などを伺ってみました。

「しんじょさ、あべ! 部長」
(しんじょう PR 大使)
三浦友加さん
みうら ゆか
山形県・住みます芸人

プロフィール

昭和56年生まれ、鶴岡市出身で吉本興業所属のお笑い芸人。「あなたの街に」住みます”プロジェクト”の山形県担当として、地域おこしを強力に支援すべく活動しており、県知事から「やまがた特命観光・つや姫大使」に任命されています。日々の活動は右のページで見ることができます。



YNN 山形チャンネル
「三浦友加のこぼえちゃ山形」
<http://www.ynn47.jp/yamagata/>

三浦友加ブログ「へずげだものす〜ろば〜や」
<http://miura-yuka.laff.jp/blog/>

—新庄はどんな印象でしたか?

お邪魔したのは初めてですが、山形新幹線の終着駅ということを知っていました。イベントや食べ物などたくさん魅力がありそうでわくわくしています。それと、新庄まつりのポスターなどを見ると、美男・美女が多い印象を受けました(笑)。

—お料理が得意ということですが?

そうなんです!先輩芸人の今田耕司さん主催のパーティでは料理長を任せていただいています。そのパーティでは必ず一品は山形名物や山形産品の料理を出しています。新庄にもそばやラーメンなど魅力的な食べ物がたくさんあると伺いましたので、それを使った新メニューの開発にもすごく興味があります。

—秋に開催する「新庄味覚まつり」でブースを出してもらうなんていうのも楽しそうですね。

ぜひやらせてください!食材を作っている人たちとも会って話をしてみたいです。

—新庄市をピーアールする意気込みは?

自分の得意分野を生かしたピーアール活動をしていきたいです。新庄の魅力伝えるため、自分のやれることを最大限やっていきます。

—新庄まつりについてはどう感じていますか?

「日本一の山車行列」というフレーズを聞いたことはありますが、歴史センターで見た実物には、テレビの映像にはないスケールがあって圧倒されました。山車がライトアップされたところはとてもきれいで、まさに「山形のエレクトリカルパレード」ですね(笑)。動物や建物がとてもリアルで、地域の方自らが手作りしていることも驚きです。東京のイベントで新庄まつり囃子も聞きましたが、感動で涙が出そうになりました。人間の魂を揺さぶるものがありますよね。

まつり期間中は学校や企業がお休みになるというのも

すごいです。新庄の皆さんのまつりにかける熱い気持ちや、地元に対する愛情が伝わってきます。

地域が一丸となってまつりに取り組むことで、地域の絆が高まり、一体感も生まれるんですね。私も新庄に生まれていたら絶対参加していたと思います。すばらしいお祭りだと感じました。今後の活動が楽しみです。

—市では、新庄まつりの観客動員100万人を目指しています。実現するために必要なことは何でしょうか?

これまでの伝統的なものも残しつつ、新しい風を入れることも必要だと思います。人は楽しいことやおいしいものに弱いので、伝統的な部分にそういった「楽しさ」や「おいしさ」を加えることでより一層の誘客が図れると思います。これだけのすばらしいお祭りは、市民の皆さんが楽しむだけではもったいないです!

—最後に市民の皆さんにメッセージをお願いします。

一生懸命新庄を盛り上げたいと思います。地元の皆さんも新しいことにごんどん挑戦する気持ちを持って、一緒にやっていただけたらうれしいです。これからよろしくお願いします!

●お話を伺ったその日のうちにインターネットで新庄の情報発信をしてくれた三浦さん。移動の車内で話題になった、ちょっとした情報も逃さず話題にするところはさすがにプロです。これから市内で会える機会もあると思いますので、皆さんも、ぜひ新庄の様々な情報を三浦さんに伝えてください。三浦さん、どうぞよろしくお願いします。



山尾順紀

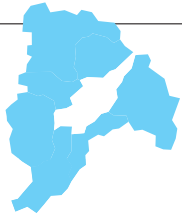
市長
コ
ラ
ム



新庄まつり200万人
誘客実現に向けて
強力な助っ人登場

新庄の誇る新庄まつりが国の重要無形民俗文化財に指定されたのを機に、観客動員100万人構想を掲げて動き出しています。テレビCM、近隣市町村との交流事業、さらに八月二十四日に表彰式の「第二回日本の伝統まつりポスターコンクール」など様々な取り組みを行っています。ポスターコンクールでは、審査委員長をエジプト考古学者早稲田大学名誉教授の吉村作治先生にお引き受けいただきました。また、このページでお知らせしている吉本興業「あなたの街に」住みます”プロジェクト”の「山形県に住みます芸人」である三浦友加さんは、「しんじょさ、あべ! 部長」を引き受けてくれました。強力な助っ人の出現で、新庄まつり観客動員100万人実現に向けた幸先よい年となりそうです。今後新庄まつり以外にも「味覚まつり」や「そばまつり」なども大いにPRをしていただく予定です。

日本が元気に!東北が元気に!新庄が元気になるようみんながまつりを盛り上げていきましょう。



地域づくりに
挑戦!



安全・安心かつ活力ある
地域づくりを目指して

新松本町区長 矢口重一

松枝消防団から支援していただいであります。しかし、三月の大震災を教訓として、不測の事態に備えた防災体制が最重要課題であると捉えています。

防犯面では、町内には消防団が組織されていないので、以前より松枝消防団から支援していただいであります。しかし、三月の大震災を教訓として、不測の事態に備えた防災体制が最重要課題であると捉えています。

地域づくりは、地域のいろいろな団体がお互いの活動を理解したうえで、一緒に取り組むことが必要です。ひとつの世代だけでも活動はできますが、人数の変化等に対応できずに、尻すぼみになってしまう場合が多いようです。その顕著な例が、敬老会を取りやめる町内が増えてきているのではないのでしょうか。

年配者の取り組みを年配者だけが行うのではなく、若い世代とともに、お互いの意思を尊重しながら話し合ったうえで一緒に活動することが必要となります。

今回は、年配者が若い世代と一緒にあって、いきいきと活動している町内を紹介します。

地域づくり通信

第5号

新松本町は、市街地南部に位置する閑静な住宅街で、持ち家、賃貸マンションを含めて約一八〇世帯の構成となっておりますが、少子高齢化が顕著に進展しつつあります。一方では古くから交通の要衝地でもあり、近年の高速道路等の整備により町内の道路を利用する車両が年々増加傾向にあります。住民はもとより子どもたちの安全確保が一番で、学校側、地域PTA、子ども会の皆さんが交通安全運動に取り組んでおり、さらに、ご年配の皆さんが組織している新松会が見守り隊として活動しています。

町内での環境整備・地域づくり等を紹介しますが、春の一番清掃、市行事の河川清掃などに積極的に参加しています。また、新松会と環境整備委員会合同での環境美化活動として花植栽や、公民館運営委員が中心となって十一組が交代で公民館清掃作業に取り組んでいるほか、新松会や子ども会による廃品回収事業も定着してきております。そのほかに、新松会においては、輪投げ大会やゲートボール大会では優勝したり、常に上位に入るなど、そのパワーにみんなが元気をもらっています。

郷土の歴史

新庄市史

53 老舗(らうぽ) (一)
今まで見てきたように、明治時代に入って新庄に様々な役所や国の機関がおかれ、商工業も新しい形で盛んになった。江戸時代の城下町とは違った商業都市としての新庄が築かれるのである。
もちろん江戸時代からの老舗も少なくない。清水川町の西田五兵衛商店は新庄藩主戸沢氏が角館にいたころからの御用商人で、昔は「仙北屋」と称していた。北本町の遅沢店、馬喰町の大泉太郎兵衛店も有力御用商人であった。
また、幕末の記録に、新庄城下の旅籠屋(旅館)として、北本町東側に井上市内、西側に船形屋喜六、子屋源蔵の三人が記されている。さらに参勤交代の大名が宿泊する宿(本陣という)として、北本町の中島惣内(もとの松屋菓子店辺)と南本町の井東弥三右衛門(現在の新庄信用金庫本店北側駐車場辺)の二軒が記されているが、このほかにも旅館はあったと思われる。北本町の佐渡(藤)屋甚内、馬喰町の鈴木久兵衛などもその一つであろう。南本町の河内屋旅館も、旅館を始めたのは明治四年かあるいはそれ以前と思われるが、江戸後期の記録の

今月の本



8月の
おすすめ

『日本ふしぎワンダーランド spot 50』

河出書房新社 / 出版

岩手県小岩井農場の冬のサクラ、山形県戸沢村の幻想の森、埼玉県奥秩父天界の村、岐阜県石徹白の大杉…。ここはいったいどこだろうと思わずにはいられない日本各地のふしぎな風景50を収録した写真集。

今月のテーマ展示 『平和』

「新庄市平和都市宣言」を記念して、戦争・平和に関する本を展示します。戦争の悲惨さ、平和の尊さを考える機会となるような本を集めましたので、ぜひ手にとってみてください。

● 児童図書 ●

- イタチとみずがみさま(絵本) ……内田麟太郎
- 世界は気になることばかり(絵本) ……五味 太郎
- うみにいったライオン(絵本) ……垂石 眞子
- コウモリのルーファスくん(絵本) ……トミ・ウンゲラー
- カメレオンのレオン〜つぎつぎとへんなこと〜 ……岡田 淳
- おたすけ妖怪ねこまんさ ……横山 充男
- ぼくたちのサマー ……本田 有明
- 王国の鍵 6〜雨やまぬ土曜日〜 ……ガース・ニクス
- 万里の長城 ……加古 里子

● 一般図書 ●

- 小学生にもできる! 実践カイテキ介護 ……長瀬 教子
- 庄内浜のアバ(とうほくぶつ 12) ……粕谷 昭二
- 絶滅したふしぎな巨大生物〜オールカラー完全復元〜 ……川崎 悟司
- 子育てできれいな歯並びを!〜夢は矯正いらず〜 ……倉治 ななえ
- 毎日の生活に役立つおばあちゃんの知恵袋1000 ……メイツ出版
- かんたん! 愛情手作りてぶくろえほん・てぶくろおもちゃ〜0・1・2歳〜 ……いしかわまりこ
- 焼きたて! おうちピザ〜魚焼きグリルやフライパンでもOK〜 ……濱田 美里
- ジェラート、アイスクリーム、シャーベットライト&リッチな45レシピ ……柳瀬久美子
- やってみよう! おむつなし育児 ……西山 由紀
- 零細企業のホームページが繁盛店に化けた理由(ワケ) ……望月 聡
- ちひろ夏の画集 ……いわたさきちひろ
- らくらくカメラ大図鑑 ……鈴木 文彦
- あきらめないで〜足みじかおじさんの旅〜 ……やなせたかし

■開館時間: 午前10時〜午後6時
8月21日(日)までは午前9時から開館します。
■休館日: 毎週月曜日
◎市立図書館 ☎22-2189



わらすこ すぐすくナビ

WARASUKO HIROBA

気をつけよう、夏の病気②
熱中症や、とびひ・あせもなどの肌のトラブル。夏に気をつけたい病気がまだまだあります。

熱中症
長時間直射日光にさらされて起こる日射病と、長時間蒸し暑い場所にいて起こる熱射病の総称。どちらも体内の塩分や水分が不足して体温の急上昇や脱水症状を起こす。ひどい場合は死に至ることもある。

●**予防方法**
外出時は帽子をかぶり、時々日陰で休憩する。日差しの強い時間は外出を避け、水やお茶などで水分を補給する。

●**対処方法**
症状が軽ければ、冷たいタオルで体をふいたり風を送る、日陰に行き頭を高くして寝かせるなどして、体温を下げるようにする。けいれん

や高熱がある、べったりしているなどの場合は救急車を呼ぶなど、すぐに医師の診断を受けること。

肌のトラブル

○**水いぼ** ウイルス性。つぶれてウイルスが他に付くことがある。
○**とびひ** 虫さされやすり傷などに菌が入り感染する。膿を持った水泡がつぶれてジュクジュクになり、触れたりする。こじると痛い。
○**あせも** 汗や汚れで汗腺がふさがれ、赤い発疹が出て、かゆくなる。
○**おむつかぶれ** 股やおしり、陰部が真っ赤にかぶれ、発疹がで、痛み。
●**予防方法**
汗をかいたらこまめに拭くこと。便をした時も濡れたティッシュで拭くなどして清潔に努める。シャワーを浴びるのもよい。

◎その他、寝冷えなどにも気を付けましょう。様子がおかしい場合はすぐに医師の診断を受けましょう。

これからの予定

8月24日(水)〜26日(金)の新庄まつりの期間中もわらすこ広場は開館します。

8月29日(月)は臨時休館となりますのでご注意ください。

8月の遊びの広場と巡回相談

16日(火)	わくわく新庄
18日(木)	本合海児童センター
19日(金)	萩野児童センター
23日(火)	保健センター

◎地域子育て支援センター(わらすこ広場内) ☎22-5115

同所に川内屋久右衛門とあるから、江戸時代からの老舗であることはまちがいない。

明治三十六年の新庄駅の開業により、駅前にかくさんの旅館が立ち並んだことも前に述べたが、明治四十年九月には、南本町にひときわ目を引くモダンな新荘ホテルができた(現在の新庄信用金庫本店北側駐車場辺)。

南本町の株式会社イシカワは明治六年の創業という。元来石川家は新庄藩士であったが、明治期に戸主弥五郎が味噌・醤油・油の製造販売を始め、それが初めで、店の名を積善堂と称したという。後に書籍・文具・薬品の販売に転じ、さらに明治三十七年には、現在の新庄中学校校庭辺に三〇〇人も開いている(昭和六年閉鎖)の女工をかかえる製糸工場を開いている(昭和六年閉鎖)。

■新庄市消防団操法審査会(7月9日/新庄駅東口駐車場)



小型ポンプ操法の基本動作を審査する消防団操法審査会が開かれ、各分団から選出された団員が、迅速な動きで日ごろの訓練の成果を披露しました。市を代表して最上支部大会には、第12分団第1部第1班(角沢)が出場し、見事優勝しました。

■あじさいいけばな展(7月9日~10日/市民プラザ)



市の花アジサイを花材にした「あじさいいけばな展」が開催されました。会場には、新庄華道連盟会員のさまざまな流派の作品が展示されました。会場を訪れた人は、趣向を凝らしたいけばなの造形の美しさに見入っていました。

■川面を照らす灯籠流し(7月28日/升形川)



地域を流れる川に親しんでもらいたいと「升形川に親しむ会」が、灯籠流しを行いました。会員手作りの灯籠に、子どもたちが絵や願い事を書いて升形川に流すと、薄暮の川面に灯籠が浮かぶ幻想的な光景が広がりました。



■夏本番!さあプール開きだ!(7月16日)

例年より早い梅雨明けとなり、暑い日が続く中、待ちに待った市民プールの営業が始まりました。オープン初日も好天に恵まれ、プールは水遊びを楽しむ子供たちの歓声に包まれました。今夏は8月21日(日)まで利用できます。



■にぎやかに「第5回市民活動フェスタ」開催!

(7月23日/市民プラザ)

市内で活動する市民活動団体が参加し、第5回市民活動フェスタ“活フェス2011”が開催されました。団体の活動紹介やステージ発表、手作り体験コーナーなどに加え、今年は、東日本大震災の復興を市民活動のパワーで応援しようという「災害復興と市民活動」と題したフォーラムや、被災地・岩手県陸前高田市の特産品販売などが行われました。

まじょう
まちかど

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介します

TOPICS



■七夕の夜に民話の夏語り
(7月7日／ふるさと歴史センター)



■「市民雪セミナー」笹巻き作りに
挑戦(7月17日／雪の里情報館)



■ALT(外国語指導助手)が市長を訪問
(7月28日／市役所)

市内小中学校で英語指導を行うALT(外国語指導助手)が市長に着任のあいさつに訪れました。今回着任したのはクリスティン・オサニさんとベンジャミン・イーペルさんの2人の米国人。夏休み明けから各学校で授業を行います。



■人間国宝・奥山峰石「金工60周年記念展」開催(7月15日～24日／市民プラザ)



■奥山峰石さん母校で講演

(7月21日／萩野中学校)

人間国宝の奥山峰石さんが、母校の萩野中学校で講演を行いました。これは、市民プラザで開催された「金工60周年記念展」に合わせ実施されたもので、「夢は大きく目標は小さく」と題し、全校生を前に将来の目標設定などについて話しました。



■市に善意の寄贈

新庄ロータリークラブ(会長・小関司)より、自転車3台(内子ども用1台)と大型絵本6冊を寄贈いただきました。自転車は観光用レンタルサイクルとして、大型絵本は図書館で貸出用として、それぞれ活用させていただきます。



3



2



1

1 日新レッドスターズが県
ティニール大会で準優勝

(7月3日／県野球場)

2 北辰小学校でマリンバコ
ンサート(7月14日)

3 ピエロショーに園児らを
招待(7月15日／市民文化会館)

8月の おしらせ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

ママさんバレーボール 部員募集

▼練習日時 毎週水・金曜日 午後7時30分～9時30分
▼練習場所 日新小学校体育館
※既婚者であれば誰でも大歓迎です。

◎事務局・高山 ☎22-43398

山形空港 フェスティバル開催

▼とき 9月24日(土)午前8時45分～午後3時
▼ところ 山形空港

▼内容 プレイイベント「山形空港ナイトツアー」(前日夜開催・要予約)、訓練飛行見学、気象施設見学(要予約)、滑走路を歩こうツアー、小型飛行機等の展示など

※要予約の催しは8月31日(水)までに往復はがきによる申し込みが必要。応募多数の場合

家庭訪問型子育て支援 (ホームスタート)利用希望者募集

山形県先輩ママの
家庭訪問支援モデル事業

時には頼れる人がほしい、話を聞いてもらいたいと思っている新米ママの家庭を先輩ママが訪問します。

○対象 未就学児のいる家庭
○内容 研修を受けた先輩ママが9月から週1回2時間程度の家庭訪問により子育てを応援します(無料です)。

◎詳しくは、NPO法人はぐくみ保育園へ。
☎22-1276

山形空港事務所

☎0237-481313

新庄東高等学校学園祭 「東蜂祭」開催のお知らせ

▼とき 9月3日(土)午前10時～午後2時45分 ▼ところ 新庄東高等学校校舎内
▼内容 EASTゲルメグランプリ(最上八市町村の食材を使って各クラスが競います)、バザーなど

◎新庄東高等学校

☎22-1562

市民セミナー 「放射線を学ぶ」開催

放射線に関する基礎知識を学ぶ無料のセミナーです。申し込みは不要で、誰でも参加できます。

▼とき 8月22日(月)午後2時～3時30分 ▼ところ 市民プラザ

山形大学理学部教授 (山形大学理学部教授)

◎総務課 ☎内線220

新庄天満宮等の 記録写真展

▼とき 8月10日(水)～26日(金)
▼ところ 市民プラザロビー

◎新庄商工会議所

☎22-6855

新庄市障害者文化・ 芸術講座「籐細工教室」

▼とき 8月31日(水)、9月7日(水)、28日(水)いずれも午前9時～正午 ▼ところ 市民プラザ3階創作実習室

▼講師 高橋慶子先生

▼持ち物 剪定バサミ等

▼参加費 500円(3回分)

▼申し込み 開催1週間前まで

電話で(定員20人程度)

◎市身体障害者福祉協会事務局

☎23-3008

国民健康保険の保険証が新しくなります

9月1日(木)から保険証が新しくなります。新しい保険証は8月19日(金)頃に発送する予定です。有効期限は来年の8月31日となります。古い保険証は9月1日以降確実に処分してください。また、長期入院などの事情により、住所地以外へ送付を希望する方は早めにお申し出ください。

◎詳しくは、健康課国保医療室へ。
☎内線511・512・517

宅地分譲のお知らせ

- 所在地 新庄市万場町地内
- 面積 352.52㎡(1区画)
- 価格 10,787,112円



◎詳しくは、市土地開発公社へ。☎内線521・533

聴覚障がい者情報通信技術 講習会参加者募集

▼対象 聴覚障がい者でコミュニケーションのため手話通訳及び必要筆記が必要なパソコン初心者

▼とき 9月3日(土)、4日(日)午前10時～午後5時

▼ところ 県社会福祉研修センター

▼内容 手話通訳と要約筆記サポートのあるIT基礎

技能演習 ▼参加費 無料

▼申し込み 8月19日(金)まで(定員10名)

◎県聴覚障害者協会

☎023-615-3582

FAX 023-615-3583

東北公益文科大学大学院 公開講座のお知らせ

▼とき 8月23日(火)～25日(木)午前10時40分～午後5時50分
8月26日(金)午前9時～午後2時30分

新庄が好き！人が好き！

元祖
新庄の花



新銘菓



登録商標 新庄の花あじさい
あじさいのたまご

(有)新庄の菓匠 たかはし

新庄市住吉町1-14
☎0233(22)4080
FAX0233(22)0075

(まり)



催しなど

「収穫味わいツアー」開催

- とき 8月31日(水)午前9時～午後2時30分
 - ところ 昭和活性化センター(新庄市昭和)
 - 内容 薄皮丸ナスの瓶漬、牛乳料理の実習、実習料理による昼食、地区散策など
 - 参加費 1,500円
 - 申し込み 8月22日(月)まで電話で。
- ◎詳しくは、最上総合支庁農業技術普及課へ。 ☎29-1330

第14回 わくわく新庄フェスティバル

- とき 9月3日(土)～4日(日)午前9時～午後9時(4日は午後4時まで)
 - ところ わくわく新庄
 - 内容 絵画、押し花、華道、ステンドグラスなどの作品展示、歌、踊り、詩吟、空手演武、太極拳などの発表(3日午後6時～)、あそびの広場(4日午前10時～正午、大型紙芝居など)食卓、バザーもあります。
- ◎詳しくは、わくわく新庄へ。 ☎23-0197

産直まゆの郷「新庄まつりセール」

- とき 8月22日(月)～24日(水)午前9時～午後6時(24日のみ午後4時まで)
 - ところ 産直まゆの郷
 - 内容 夏野菜、花、お祭り用農産物の販売
- ◎詳しくは、産直まゆの郷へ。 ☎23-5007

フランス料理教室参加者募集

- とき 8月27日(土)午後4時～
 - ところ 市民プラザ調理室
 - 材料代 2,500円
 - 申し込み 8月25日(木)まで電話で
- ◎詳しくは、事務局・笹へ。 ☎22-2086

手づくり豆腐教室参加者募集

- とき 9月4日(日)午前9時～午後1時30分
 - ところ 市民プラザ調理実習室
 - 材料費 1,000円
 - 講師 鈴木久子さん、高桑美知代さん
 - 申し込み 8月31日(水)まで電話で
- ◎詳しくは、市民プラザへ。 ☎22-4200

新庄・もがみ フラワーフェスティバル2011開催

- とき 9月3日(土)午後3時～5時、9月4日(日)午前9時～午後3時
 - ところ ゆめりあ花と緑の交流広場
 - 内容 花き品評会と展示、花き販売、フラワーアレンジメント教室など。4日(日)は先着100名に花のプレゼントがあります。
- ◎詳しくは、農林課農林振興室へ。 ☎内線261

市立中部保育所新庄まつり山車展示

子供たちが一生懸命作ったミニ山車で。
○8月31日(水)まで
○市民プラザ1階市民ロビー
◎入場無料。市民プラザ ☎22-4200

平成23年度 第2回 「きれいな川で住みよいふるさと運動」

○9月4日(日)午前6時～8時(予定)
○市内8河川の清掃(ごみ拾い、除草など)
◎都市整備課雪対策・道路管理室 ☎内線531・533

労使間のトラブルの 解決をお手伝いします

解雇や賃金などの問題で困りではありませんか? 県労働委員会は、二人一人の労働者と事業主との間の労働関係のトラブル解決をお手伝いします。公益・労働者・使用者代表

▼申し込み 8月22日(月)まで電話などで(定員30名)
◎東北公益文科大学大学院事務局
☎0235-29-0555

国民年金任意加入制度 のご案内

老齢基礎年金は、20歳から60歳までの40年間保険料を納めなければ、満額の年金を受け取ることができません。国民年金保険料の納め忘れなどにより、保険料納付済期間が40年間に満たない場合は、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入して、満額の年金に近づけることができます。なお、老齢基礎年金を受給するためには、保険料の納付済期間や保険料の免除期間などが原則として25年以上必要と

なりますが、この要件を満たしていない場合は、70歳になるまで任意加入することができません。また、海外に在住する日本国籍の人も国民年金に任意加入することができません。

◎新庄年金事務所 ☎22-2050

山形農政事務所の 再編のご案内

9月1日から山形地域センターと酒田地域センターに再編されます。新庄市の管轄は酒田地域センター(酒田市光ヶ丘2-13-6 ☎0234-3317244)となります。

倒壊等建物の職権登記 について

山形地方方法務局ではこの度の震災により倒壊等で滅失し

◎山形農政事務所総務課
☎023-622-7231

自衛官募集

▼種目 ①航空学生 / 高卒予定 / 21歳未満 ②一般曹候補生 / 18歳 / 27歳未満、③自衛官候補生 / 18歳 / 27歳未満

▼申し込み 8月1日(月)～9月9日(金)

【自衛隊制度説明会】8月30日(火)午後1時～7時 / ゆめりあ会議室

◎自衛隊新庄地域事務所 ☎22-5057

◎山形地方方法務局
☎023-625-1358

最近携帯電話の調子はどうですか?今ドコモでは...

無料 ケータイてんけん実施中

1 ケータイクリーニング (他社様のケータイでもOK)

2 専用測定器での診断

3 外観チェック (各種キャップ等交換)

※数に限りがございますので、無くなり次第終了となります。

ドコモショップ 新庄中央通り店
営業時間AM10:00～PM7:00 新庄市小田島町6-60 ☎0120-238-702

LPガス・灯油・上下水道工事
ガス給湯器・ガラストップコンロ・台所・浴室・リフォーム

— ガスを通して住宅設備のお手伝いをする —

(株) シンプロ

新庄市宮内町5番1号 TEL(代)22-1273



佐吉爺の
さきちい

民具
あれこれ



雪とまつりのふるさと新庄の先人たちは、知恵と技術を凝縮して機能的で美しい民具をつくりだし、その文化は、現代も継承されています。民具の使い方や機能について、当時の暮らしぶりなどをまじえて紹介します。

解説:伊藤佐吉さん(仁田山)

山明けて朝に草刈る
気もかるく 刈るうづ草
鎌の音かや

入梅も終わり田の草取りが出来上がるころに立秋となる。農家は畦の草刈りや、山野から草を刈り取って、来年の田畑に入れる堆肥作り。一生懸命であった。牛馬と一緒に手鎌で刈った。現代のような草刈機はなく、人力であった。田んぼの稲も出穂の盛りとなるこの季節になると、雷雨が近くなる。雷雨が降ると、一夜にして稲穂が出そううといわれ、それで雷を「稲光」と言った。田畑も喜ぶ雨である。

八月七日は月遅れの七夕、お盆の仕度となる。七日は、昔から墓払いと言って、お墓を掃除して、ヨシで作ったごちそうをあげる台(「墓お膳」という)



▶草刈機の無かった時代は、草刈り鎌を使って人力で草刈りをしました。(ふるさと歴史センター雪国民俗館に展示しています)

を作った。昔は、十日市といって、お盆に必要なものを買いに、在郷の人たちが町に出た。

十三日夕方には、家族そろってお墓参り。子どもたちは浴衣姿で提灯を持ち、にぎやかであった。十五日は、俺が村の鎮守・地藏様のお祭り。夕方より素人演芸や鹿子踊りで、子どもも大人も舞台で踊るのであった。お盆休みは、初嫁や婿たちが里帰り。二十日盆まで親戚の家々の仏参りなどをした。お盆に新しい浴衣や下駄を買ってあげるから良く言うことを聞けど、親に子守の役を言いつけられた。手伝うと小遣い銭をもらった。当時、一銭で萩野名物「平治鉛」が二本買え、親指ぐらい太い「平治鉛」をなめながら学校から帰ったことも良い思い出である。

お盆が過ぎ、夜に太鼓の音が聞こえる、新庄まつりの囃子の練習が始まった。二十四日山車の宵祭り、二十五日は神輿渡御行列に山車が続く。二十六日は、県指定無形民俗文化財・萩野仁田山鹿子踊が戸沢神社と護国神社に奉納される。新庄まつりに家族みんなで見物に出た。爺が子どものころは、町に出て山車を見るのに一日がかりであった。

豊作に留守番なさる
案山子かな

八月は各村も豊年まつりで一色である。この時季になると、田んぼの稲穂も黄金色に色つき始める。

表紙の 写真

色鮮やかに咲きました! —あじさいまつり開催—

7月17日(日)、東山公園「あじさいの杜」であじさいまつりが行われました。毎年梅雨の時季で雨が降ることが多いのですが、今年は例年になく早い梅雨明けとなり、快晴の夏空が広がりました。子どもたちの元気な踊りや関屋囃子若連による囃子演奏が行われ、鮮やかに咲いたあじさいの花の中、写真撮影会や野だて茶会、ミニコンサートなど多彩な催しが行われました。



6 月末現在の新庄人

38,752人 (39,182人)
女 20,219人 (20,457人)
男 18,533人 (18,725人)
世帯数 13,480世帯 (13,507世帯)

6月の異動

出生	23人 (16人)
死亡	50人 (23人)
転入	69人 (65人)
転出	63人 (58人)

※()は1年前の住民基本台帳



環境にやさしい植物油インキを使用しています